



特集

寒いときは、 温泉でのんびりと...

23

2007 WINTER



▲豊かな雑木林に囲まれ
野趣たっぷりの露天風呂

▼全身浴槽・気泡・ジェット・
寝湯など、いろいろの温
泉がある

寒いときは、 温泉でのんびりと...

「しもつま温泉（ビアスパークしもつま）」

木枯らしが吹きささぶ寒いとき、心身ともに癒されるのは温泉です。

そこで今回の特集では、鬼怒川流域にあって、気軽に立ち寄れる身近な温泉スポット

「しもつま温泉（ビアスパークしもつま）」を紹介しましょう。

地下1500メートルより湧き出た アルカリ性の天然温泉

関東鉄道常総線・下妻駅より、筑波山を望む田園風景が広がる道をクルマで進むと、10分ぐらいで、「ビアスパークしもつま」に到着。ここは農村資源と農村空間を活用したテーマパークです。体験農園・農産物加工施設・地ビール工房・ホテル・レストランなど、さまざまな施設があり、「しもつま温泉」もこの施設内にあります。

温泉は、地下1500メートルより湧き出たアルカリ性の天然温泉です。泉質は、ナトリウム・カルシウム塩化物泉だそうで、神経痛、関節痛、冷え性、慢性

婦人病、疲労回復などに効果的。無色透明で、わずかに塩味が感じられます。

露天風呂は、ふたつあって、入り口から左側は木製づくり、右側が石づくりとなっています（男女日替わり制なので、日によって、そのどちらかに入れます）。今日は、男性が石づくりの露天風呂となっていたので、さっそく入浴。広々とした浴槽に、ゆったりとつかると温度も適温で、お湯はなめらか、心身ともにリフレッシュできました。

内湯には、全身浴槽湯（ジェット・気泡・寝湯など）、サウナ風呂、薬湯風呂などがあり、まさに温泉天国。なかでも10種類の薬湯を用いた薬湯風呂は人気で、たくさんの方がじっくりと身体をつかっていました。

温泉の後は地ビールで乾杯し、 「ふれあい体験農園」にも足を運ぼう

温泉を楽しんだ後は、隣接する大広間でひと休み。ここは100畳もの広さがあり、地ビールやうどん、そばなどの軽食コーナーも用意されています。オススメは、同パーク内の「地ビール工房」で造られた「パストレイク」という名の地ビール。鬼怒川・小貝川の水に恵まれた肥沃な大地で育った二条大麦を加工した麦芽、ホップ、酵母そして水だけを原料に造られています。

また、ご家族連れの方は、パーク内の「ふれあい体験農園」に足を運ぶのもよいかもしれません。約2万7000平方メートルの広大な敷地内には、野菜畑、果樹園、ビニールハウスなどがあり、そこで野菜やナシ、ブドウなどの果物の収穫が行えたり、農作業も体験できます。このほか、「体験工房」ではクッキー・アイスクリーム・ピザづくりなどを学べます。

なお、「ビアスパークしもつま」は、宿泊施設（和室7室・洋室12室、定員84名）も完備しています。



▲入浴後の休憩などに使える大広間では、軽食や地ビールが楽しめる



▲ビール工場「しもつまブルフリー」。主原料の麦芽にこだわった本格ビールがつくられている

農産物直売所。地元契約農家から毎朝届く新鮮な野菜や特産品を販売



12.5畳の和室。家族や小グループの宿泊に便利。他に洋間タイプもある



お問い合わせ・ご予約先
〒304-0056
茨城県下妻市長塚乙70番地3
☎ 0296-30-5121



■温泉施設 営業時間 10:00～22:00（最終受付時間 20:30）
利用料金 大人 700円（中学生以上）
小人 400円（小学生）
幼児 無料

鬼怒川・小貝川流域の 公共の湯ガイド

今回は、鬼怒川・小貝川沿いにある公共温泉のなかでも、知られざる名湯、多彩なお風呂がある温泉、露天風呂の風情が満喫できる温泉などを紹介。いずれも市や町をあげての施設なので、入浴料金も格安なところが多く、温泉施設も充実。なお、各温泉施設の休日ですが、祝日と休日が重なった場合は翌日休業、年末年始期は営業日を変更しているところも多いので、ご注意ください。

◆栃木県

●上栗山温泉「開運の湯」

日光市上栗山179-31 ☎0288-97-1952
料金500円 時間9:00～17:00 年末年始休み（29～3日まで）
住民管理の共同浴場で、浴槽は小さいが真正正格のかけ流し湯。浴槽から立ち上がると、窓から鬼怒川の流れも見える。

●上人一休の湯

日光市川俣740 ☎0288-96-0008
料金500円 時間9:00～21:00 12月～3月までは水曜休み
施設の建物京都・清水の舞台を模した外観。アルカリ性単純泉で、川治ダムから鬼怒川沿いに進んだ川俣湖畔にある。

●川治温泉岩風呂「薬師の湯」

日光市川治227 ☎0288-78-0229
料金300円（休憩込500円） 時間16:00～21:00 無休
透明なお湯はぬるめで、関節痛や神経痛に薬効がある。女性専用の露天風呂と混浴用の露天風呂の2つがある。

●日光市温泉保養センター「かたくりの湯」

日光市町谷1866-1 ☎0288-21-8671
料金300円 時間10:00～21:00 月曜休み・年末年始休み（29日から1日まで）
露天風呂では、近くを流れる大谷川のせせらぎが聞こえる。内湯には、うたせ湯、かぶり湯、サウナ室などがある。

●芳賀温泉「ロマン湯」

栃木県芳賀郡芳賀町上延生160 ☎028-677-4126
料金500円 時間10:00～21:00 水曜休業
「道の駅がけ」内の施設。露天風呂の築山ごしに綿帽子をかぶった日光の山々を望める。

●真岡井頭温泉

真岡市下籬谷21 ☎0285-83-8822
料金700円 時間10:00～21:00 火曜休業
露天風呂、薬湯、大浴場、気泡浴、圧注浴、サウナなど、さまざまな温泉を楽しめるのが魅力。湯量も豊富で高温である。

◆茨城県

●きぬの湯

常総市内守谷町きぬの里1-5-6 ☎0297-20-3751
料金1200円 時間10:00～24:00 第3火曜休業
ヒーリング効果も抜群の「源泉かけ流し」のお風呂。寝風呂、エステ風呂、電気風呂など14種類の多彩な風呂がある。

●あけの元気館

筑西市荒井新田48-1 ☎0296-52-7111
料金700円 時間10:00～22:00 第2・4水曜休業
「晴明の湯」と名付けられた露天風呂のほか、内風呂、プール・バーデゾーン、トレーニングルームなども完備している。

●遊龍館「やちよ乃湯」

茨城県結城郡八千代町大字松本592 ☎0296-48-4126
料金700円 時間10:00～21:00 第2・4水曜休業
露天風呂の一角は屋根付きなので、雨の日でも入浴できる。和室の休憩所（39畳、15畳の2部屋）のほか、レストラン施設も完備。



▲今年1月7日(日)に行われた「千姫風あげ大会」。次々と風が空に舞い上がる

We Love River

鬼怒川の河畔で、千姫風あげ大会を開催しています

水海道まちづくりネットワーク

常総市にある「弘経寺(くぎょうじ)」は、二代將軍・徳川秀忠の長女・千姫(天樹院)の菩提寺として知られています。そこで、同市では「千姫まつり」など、さまざまな行事を開催。そうした行事のひとつとなっているのが、毎年1月初旬に鬼怒川河川敷の橋本運動公園で行われる「千姫風あげ大会」です。

この風あげ大会を主催する「水海道まちづくりネットワーク」の内海昭佳副代表は、大会の趣旨を次のように語ります。



水海道まちづくりネットワークの鈴木正副代表(右側)と内海昭佳副代表(左側)

「『川に親しみ、川をきれいに』をモットーに、鬼怒川の浄化意識の向上を図るためのイベントとして考案しました。同時に、正月の風物詩として常総市の新しい風文化を創ることが大きな目的です」

連風は、1枚の風の高さが90cmで、幅は60cm。10連風をあげるには、大人でもかなりしっかりと足を踏ん張らないと、風に引っ張られてしまうそうです。各連風の間隔は7mで、手前の風から30mの風系が付いているので、10連風の場合は全長100mにもなります。

風あげ大会の実行委員長を務めるのは鈴木正さん(同ネットワーク副代表)。

「11月に風作り教室を開きますが、風を弓形にたわめるのは素人の方には大変難しいのです。そこで、風が確実に上がり、参加者全員が楽しめるように、骨組みが仕上がった風を使っています。また、小さなお子さんのために、下絵が描かれた和紙に好きなように色づけしてしていただくような工夫もしています」

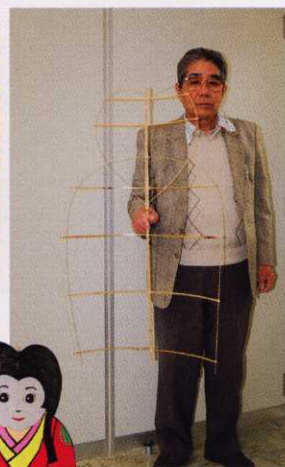
100枚近くもの風の骨組みを、鈴木さんはひとりて組み立てるそうです。



▲比較的作りやすい風・雛風の完成品



▲子どもから大人までが楽しめる風あげ大会。鬼怒川河川敷の橋本運動公園には、地元の方だけでなく、多数が押し寄せた



▲千姫連風の骨組み。高さが90cmもあり、各部の結び目の締め具合が難しい



▲大空にある11連の千姫連風。全長は100m以上になる



▲千姫連風の完成品、色使いやデザインは各自が自由でできる。なかには10枚一組で完結するデザインもある

「千姫の顔を活かしたものにしたり、骨組みの各部の結び加減などが難しいポイントです。上手にできた風は、ただ離すだけで、次々と空にあがっていきます」

この風あげ大会は、「千姫杯争奪大会」の一つとして、風を上手にあげることはもちろん、図案化や色づけの美しさも選考の対象になり、順位が決まります。

「今年は、千姫連風と雛風の両方で競いました。しかし、第3回目となる来年の大会(1月13日開催)は、連風の部(10枚・5枚もの)と1枚ものの部に分けて行います」(鈴木さん)

「千姫杯争奪大会」は、同ネットワークが行うイベント企画で、レディースフットサル大会、お手玉大会、ピンポン大会、カラオケのど自慢大会があります。

「いろいろな大会を開催していますが、今後は鬼怒川、小貝川の活用とどう結びつけて行くかが課題です。鬼怒川の下流にあるので流木で炭を焼いて浄化に寄与するとか、水辺パークの設立とか、やりたいことはたくさんありますが…」(内海さん)

同ネットワークの会員は現在50名、今後も積極的に多彩な活動展開を目指しています。



川のあるまち歩き

さくら市

喜連川藩ゆかりの史跡を訪訪する

さくら市は栃木県中部に位置し、2005年に氏家（うじいえ）町と喜連川（きつれがわ）町が合併し、誕生しました。ふたつの地区は、鎌倉時代より栄え、江戸時代には奥州街道の宿場として「氏家宿」「喜連川宿」が、それぞれ栄えました。今回は、足利氏の流れをくむ喜連川藩ゆかりのスポットを中心に訪ねてみましょう。

■奥州街道沿いの宿場町として繁栄

喜連川藩は、関ヶ原の戦い後に立藩されました。初代藩主・頼氏（よりうじ）の正室は、足利義氏の娘・氏姫です。足利氏の流れをくむ名族として喜連川藩は優遇され、5千石の石高でありながら10万石格の大名扱いで、参勤交代や諸役が免除されるなど、さまざまな特典が与えられました。お丸山下（現・喜連川庁舎）に喜連川城が築かれ、代々の城主によって城下町が整備され、喜連川藩は大いに繁栄しました。

また、奥州街道沿いに「喜連川宿」があり、宿場には本陣や脇本陣はじめ、多くの旅籠が建ち並び、にぎわいました。なかでも仙台藩が参勤交代のときには莫大な費用が喜連川宿にもたらされました。仙台藩では、節約のために喜連川宿を通り過ぎたくても、いつも宿場前で喜連川藩主が出迎え、宿泊しないわけにはいかなかったというエピソードも伝えられています。

なお、喜連川藩は、足利氏の流れをくむ家系としては唯一、明治期まで大名格で存続しました。

喜連川城大手門

藩主頼氏が築いた大手門を復元してもので、平成3年に完成。2階部分は展示場となっている。

喜連川足利家歴代墓所



▲喜連川家の菩提寺・龍光寺の境内には、石塔など60基が並び喜連川足利氏の墓所がある。龍光寺には、足利尊氏公の木像や十一面観世音菩薩立像などもある

寒竹囲いの家



▲喜連川15代藩主・茂氏（しげうじ）が奨励した寒竹の生け垣。板垣に代わるもので、維持費があまりからず、別名「甕甲（べっこう）垣」とも呼ばれる

御用堀



▲喜連川9代藩主照氏（ひろうじ）が、防火・灌漑・飲料水などに役立てるために造成。現在も、堀には清流が流れて真鯉や錦鯉が泳ぐ

旧奥州街道の風情が残る



▲江戸時代の奥州街道の風情がそのまま残る（早乙女地区羽黒）。街道沿いは、約500mほどうっそうとした杉林につつまれている

＜その他の観光スポット＞

勝山城跡



▲鎌倉末期に、鬼怒川左岸の崖を天然の要塞に築かれた勝山城。現在は城跡しか残っていないが、サクラの名所として有名

霞堤



▲鬼怒川の氏家大橋の上流にある霞堤。堤防の一部に流路とは逆向きに水の出口を造り、増水したとき水を逃すもので、下流側の堤防が上流の堤防と二重になっている

さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-



▲鬼怒川の水運史や阿久津河岸の模型、川に関する資料が多数展示。また仏画家で、日本とインドの文化交流の先駆者としても知られる荒井寛方の作品や資料の展示や、大工道具の鑑（のこぎり）を集めたユニークな「鋸展示室」もある。



2008 WINTER EVENT GUIDE



1 月 January



1 第3回千姫凧あげ大会

13 国 常総市橋本運動公園(鬼怒川河畔)
国 水海道まちづくりネットワーク(MMN)事務局
☎ 0297-22-2121



2 真岡市自然教育センター付近の 鬼怒川川原の野鳥観察

19 国 真岡市若旅1188
国 真岡市鬼怒水辺観察緑地観察センター内
真岡自然観察会
☎ 0285-84-6439



3 にのみやたこあげ大会

20 国 二宮町砂ヶ原250
鬼怒川河川敷緑地公園
国 二宮町立公民館内
にのみやたこあげ大会実行委員会
☎ 0285-74-0107



2 月 February



4 うしくゴツ多市

10 国 牛久市栄町運動広場
(牛久市栄町4丁目 中央生涯学習センター隣)
国 牛久市商工観光課(ゴツ多市組合事務局)
☎ 029-873-2111(代)

5 2007 Welcome サーモン at 筑西

17 国 茨城県筑西市勤行緑地公園(中館観音寺東)
勤行川(五行川)
国 しもだて紫水ロータリークラブ((株)志番事本部内)杉山
☎ 0296-25-6787



3 月 March

6 五行川 鮭っ子壮行会・ 放流式

2 国 真岡市東郷五行川
大前神社南五行川西岸河川敷広場
国 NPO法人 鮭守の会 事務理事 柳田
☎ 0285-84-2200(大前神社内)



7 マス釣り大会・ 鬼怒川クリーン作戦

13 国 宇都宮市上桑島 鬼怒川ふれあいビーチ
国 瑞穂野鬼怒川愛護会
☎ 028-656-0980



イベントタイトルの数字はマップ上の
数字と対応し、開催場所を示します

国 開催場所 国 問い合わせ先

鬼怒川改修80周年記念フォーラム開催

鬼怒川の歴史を見つめ、未来につなぐ

昭和2年に国の直轄事業として鬼怒川改修事務所が設置され、ダム建設や河川改修を進めて、今年で80周年を迎えます。これを記念したフォーラム「鬼怒川の歴史を見つめ、未来につなぐ」が11月1日(木)、結城市民文化センターアクロスにおいて開催。フォーラムには、結城市をはじめ下妻市、筑西市のほか、さくら市などの県外からも、鬼怒川沿川の方々350余名が来場されました。



▲活発な意見が交わされたパネルディスカッション



▲真剣に聞き入る会場の方々

●多彩なディスカッションが展開

フォーラムの第1部は、まず女優水の研究家としても知られる大山のぶ代さんによる「たかが水、されど水」と題した特別講演。大山さんが、子どもの頃から「しつけ」のひとつとして教えられてきた言葉「背負い水」を中心に、水の大切さ、水へのこだわりなどをわかりやすくお話いただきました。

次に、筑波大の西村名誉教授をコーディネーターに、小西結城市長、秋元さくら市長、さくら市ミュージアムの中野館長、花と一万の会の飯島会長、大山のぶ代さん、下館河川事務所の成田所長をパネラー

としたパネルディスカッション「鬼怒川の歴史を見つめ、未来につなぐ」が行われました。

西村名誉教授の司会のもと、鬼怒川の歴史と地域の発展(さくら市長、結城市長)、地域の歴史・洪水の体験談(中野館長)を、それぞれ紹介いただきました。その後、鬼怒川をフィールドとした活動などを中野館長、飯島会長にご報告していただくとともに、今後の河川へのご要望などお聞きし、それらのお話を受けて成田所長より河川行政としての今後の取り組みについて説明がありました。

鬼怒川の歴史を見つめ、未来につなぐ



▲大山のぶ代さんの特別講演「たかが水、されど水」

●鬼怒川フォト&絵画コンテストの作品を展示

また、フォーラムと併せて、会場では多くの展示コーナーも設置。結城紬の糸つむぎ体験コーナー、鬼怒川の石をキャンバスにしたストーンアート、鬼怒川で活躍する河内自然環境研究会(カジカ研)の「魚の駅」、下館河川事務所の事業説明・鬼怒川の歴史パネルなど、さまざまな展示が行われました。さらに、ギャラリーでは、「鬼怒川フォト&絵画コンテスト」の作品展示が行われ、来場者による人気投票も実施されました。



▲フォト&絵画コンテストの作品を展示

鬼怒川フォト&絵画コンテストの受賞作品が決定しました

鬼怒川改修80周年記念イベントのひとつとして行われた「鬼怒川フォト&絵画コンテスト」に多数の応募をいただきまして、ありがとうございます。12月13日(木)に厳選な審査を行った結果、以下の作品が受賞しました。各部門のグランプリ&入賞作品を紹介します。

●フォトコンテスト

グランプリ	「盆踊り」	増田敏雄
優秀賞	「鬼怒の清流」 「冬の岩場」	大橋志ほこ 小林正行
佳作	「菜の花の咲く頃」 「増水去っても濁流」 「晩春の彩り」	飯村松雄 富永 明 岡本恭二

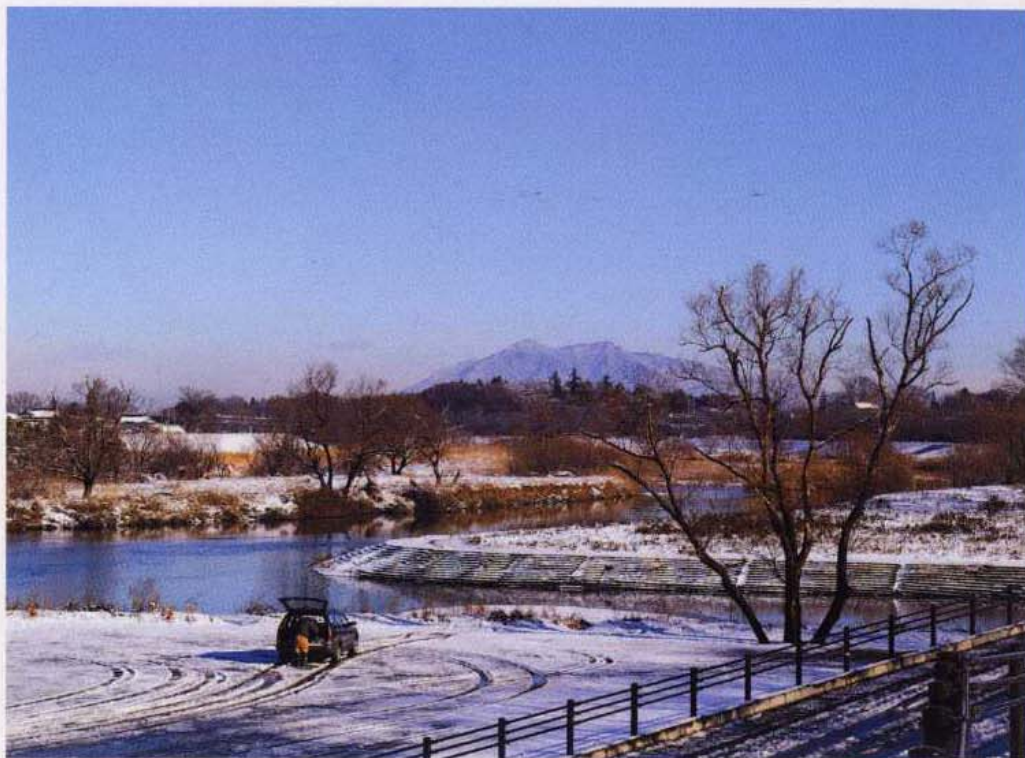
●絵画コンテスト

グランプリ	「ホテルと鬼怒川」	島内 香奈(守谷市立大井沢小学校6年)
優秀賞	「キラキラゆめ鬼怒川」 「笑顔が集まる鬼怒川」 「きぬ川にぎんぎょがいたら」 「秋のこうよう、流れる鬼怒川」	五十畑美優(宇都宮市立横川西小学校3年) 手塚 妙音(宇都宮市立上河内西小学校4年) 堀 真祐子(アルス絵画教室1年) 辻村 和紀(宇都宮市立東小学校6年)
佳作	「川を大事に!」 「川をたいせつに」 「しぜんいっばいきぬ川」 「よみがえれイトウのすむ川」 「無題」	安野峻太郎(宇都宮市立清原北小学校3年) 北畠 志温(宇都宮市立清原北小学校3年) 塚越 祐太(下妻市立上妻小学校2年) 川井 陸(筑西市立小栗小学校3年) 川松 大貴(笠間市立東小学校6年)

(敬称略)



▲審査会のようす



鬼怒川・小貝川
フォトコンテスト
入 選 作 品

雪化粧した小貝川

西村 清和さん

(茨城県守谷市)

春夏秋冬の季節の移ろいをカメラに収めることを楽しみとしています。写真は、冬枯れの小貝川です。前日の降雪で、小貝川の景色が一変しました。

撮影場所
小貝川・福岡堰下流

皆さんからのお便りでつくるコーナー

リ・ア・ク・ト rio読者の皆さんに川遊びなど、川での思い出に残る出来事を寄せていただきました。

●表紙の写真がとても良かったです。私の生活圏にはない風景ですが、なぜか懐かしい思いになりました。

M・Aさん(主婦・54歳)越谷市

●子どもたちが、安心して安全に遊べる川、きれいで身近な川。これからも、そんな川であって欲しいと思っています。

Y・Kさん(会社員・47歳)芳賀市

●鬼怒川・小貝川を使う私たちが、生活排水などをどう見直していけばよいのか。川をきれいにしていくため情報を教えてください。

K・Yさん(フリーター・25歳)常総市

●この冊子が発行されるのが、とても楽しみです。小さいのに情報満載で、詳しく載っていて、とてもわかりやすいです。

A・Nさん(無職・55歳)下妻市



皆さんの声をお聞かせ下さい!

リーオでは皆さんのお便りをお待ちしています。川のこと、自然のこと、河川事業に関することなど、とじ込みハガキに書いてお寄せ下さい。



とっておきの写真を募集中です。

リーオでは皆さんの撮った「とっておきの写真」を募集しています。鬼怒川や小貝川流域の風景やお祭りなどのほか、過去の災害写真など、たくさんお寄せ下さい。写真をお寄せいただいた方には粗品を差し上げます。

編集後記

今号で紹介した「千姫凧あげ大会」。子どもから大人までが楽しめる凧あげ大会として人気です。その盛況なイベントのバックには「水海道まちづくりネットワーク」の方々が、さまざまな努力をしてくれていることが、よくわかりました。



第23号 Winter

※rio [リーオ]とはスペイン語で「川」という意味です。

編集
発行

「鬼怒川・小貝川サミット会議」事務局・国土交通省 下館河川事務所

〒308-0841 茨城県筑西市二木成1753 ☎0296-25-2171(調査課)

★「リーオ」はインターネットホームページでもご覧いただけます。

下館河川事務所HP ▶ <http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/> E-mail ▶ shimodate@ktr.mlit.go.jp

●このパンフレットは再生紙を使用しています。